

管 調 資-NO. 2.

開 発 調 査 部

● 各国事情のしおり

—— シンガポール編 ——



JICA

119
20
EX

BRARY

1971・1

海外技術協力事業団

海外事業部

国際協力事業団

受入 月日	'87. 4. 22	119
登録 No.	08480	20
		EX



は し が き

本小冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料として、事業団海外事務所からの調査報告等をもとに、作成したものである。

本小冊子は、事業団海外事務所の役割、専門家派遣に係る業務の範囲、専門家に対する要望事項について記すとともに、専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣・食・住・気候・教育・公共施設・治安等を重点に作成した。各項目にふれる前に、シンガポールに対する我が国の技術協力の推移について、ごく簡単に述べておきたい。

シンガポールに対する技術協力事業として、我が国はこれまでに、個別専門家の派遣、訓練センターの設置、単独機材供与等をおこなってきた。

専門家の派遣は昭和35年度よりはじめられ、44年3月末までに計43名を派遣せしめているが、業種別にみると、通信運輸13、水産業9、建設関係7、厚生5、教育5、その他となっている。事例としては次の如きものがある。

- ① シンガポール国サラン地区に屋外競技場及び屋内体育館を建設することとなり、これに必要な調査、指導をおこない、設計の改良等有益な勧告をおこなうため、昭和41年に2名の

専門家を派遣した。

- ② ラジオ・テレビ部門に対する協力として、シンガポール放送局のテレビジョン放映に際し、その企画等に協力するため昭和35年に2名の専門家を派遣し、その後も引き続き、シンガポール工科大学、シンガポール職業訓練所、シンガポール放送局に、テレビ工学、ラジオ・テレビ番組、テレビフィルム of 専門家を派遣した。

次にシンガポール原型生産訓練センターの設置がある。

シンガポール政府は、自国の工業化推進に力を入れており、その一環として、Prototype Production and Training Centre の設置を我が国に要望してきたので、昭和40、41年の二度に亘り調査団を派遣し、同国の小規模工業開発のため本センターを設置することに決め、昭和41年10月両国間で協定の締結をみた。訓練は、昭和43年1月より機械加工、工具金型製作、熱処理、設計・製図、溶接、鍛造、メッキの各部門について順次開始され、同時に原型生産として、各種金型、卓上ボール盤、旋盤の製作をすすめている。なお昭和44年3月末現在派遣した要員は12名で、供与した機材は、工作機械類、電気炉、設計製図器具等1億5千5百万円に達している。

またシンガポールに対する単独機材供与としては、約1千7百万円相当の密輸捜査用機材、ラジオ・テレビ指導用機材、弱電関係機材があげられる。

本小冊子の各項目については、今後も適時修正をおこなってゆくが、本小冊子がシンガポールに赴任する専門家の何らかの参考になれば幸いである。

昭和46年1月

海外事業部長

長谷川 正 男

目 次

I	海外技術協力事業団海外事務所について	1
1.	海外事務所の役割	1
2.	専門家に対する要望事項	4
II	任 国 事 情	5
1.	住宅（住宅事情，家賃，ホテル，什器・備品）	5
2.	食品（食料事情，価格，外食）	6
3.	衣類・日用品（衣料事情，日用品）	9
4.	使用人	10
5.	医療（医療事情，医薬品，疾病の種類，健康 管理上の注意）	11
6.	子弟の教育機関（教育制度，教育機関，授業 料，通学方法）	12
7.	娯楽設備（保養地等，余暇，日本人クラブ等）	13
8.	電 力	14
9.	交通（交通事情，タクシー等，自動車購入， 運転免許，ガソリン代）	14
10.	為替（相場，対日送金，滞在費受取方法）	16

11. 出入国管理（税関検査，外人登録，ビザ手続）……	16
12. 便宜供与（種類，カウンターパート，免税特 権）……	17
13. 通信・運輸（郵便事情，運送）……	18
14. 言語（英語等の普及度，語学学習）	20
15. 気 候	20
16. 治安（一般情勢，夜間外出，緊急時連絡方法）……	21
17. その他（対日感情，新聞・雑誌，風俗・習慣， 理髪・美容，買物）……	21
 Ⅲ 海外事務所等連絡先	 22
 Ⅳ 附 表	 25
別表第 1	
別表第 2	
 Ⅴ シンガポール国地図	 29

I 海外技術協力事業団海外事務所

1. 海外事務所の役割

(1) 赴任当初

① 空港出迎え

現在のところ赴任専門家が少ないので業務の一部として全員に実施している。

② ホテルの予約

シ政府は、当初赴任の専門家には、3泊分の宿泊費（1泊単身は\$30、妻同伴\$45、子供同伴\$75）を負担している関係上ホテルはシ側で手配している。

③ 勤務先への案内

全員に実施。到着翌日勤務先へ案内し、関係者に紹介し、今後の業務日程、実施方法等について打合せを行っている。

④ 住宅の斡旋

44年度よりシ側の便宜供与が改正され、専門家はシ側の協力の下に住宅を探さなければならなくなったが、実質的には P.W.D. (Public Works Department) 担当官が積極的に協力してくれるので（漁業センターは

別)立合ってアドヴァイスを行う程度である。

しかし、今後の見通しとしては、住宅事情の逼迫に伴ない、政府宿舎が何時も確保出来るわけではないので、民間の住宅に入ることも充分考えられ、その際は海外事務所で斡旋する方法がとられるであろう。

又、官舎入居前に修理の必要ある場合は(要員交代の場合等)シ側担当官と立合いのうえ実施している。

⑤ 携行機材の引取り

船積書類をシ側関係者に手交すれば引取業務はシ側で行なっている。

⑥ 私物、アナカン等

現地の事情を勘案し引取業者を紹介する程度。

⑦ 調査団通訳、車輛雇上げの斡旋

必要に応じ実施している。

⑧ その他

アマ(女中)、運転手の雇上等について、専門家交代の際、前任者から引継ぐ場合、適宜斡旋している。

(彼等の雇上は最近非常に難しくなったため)。

(2) 赴任中

① 業務報告書等の提出

報告書及び事務連絡等専門家が公式に事業団へ連絡する文書は全部当海外事務所へ提出してもらい、本部へ送

付する。

② 専門家勤務先への定期的訪問

専門家で定例会議を行なっているところには（PPTCは日本側で週1回、シ側では月1回の定期会合）支障のない限り出席している。

専門家の交替等の機会に全専門家を集め（年2～3回）共通問題について話し合っている。

③ 緊急時の治安対策及び連絡ルート

当国は狭いので緊急時には直ちに連絡がつくがマレーシアへ旅行する者が多いので、その際は、「任国外渡航許可申請書」の提出を求め、所在をはっきりさせている。

④ ヴィザ更新等

渡航先の追加、ヴィザ取得の際は大使館と協議し、海外事務所が大使館へ書類で申請することになっている。

(3) 帰国前

① シ側貸与品の立合いチェック

現在、漁業センターを除く全専門家が政府宿舎に入っており、テーブル、椅子、シート、食器等備品、日用品の大部分の支給をうけているので帰国時損耗についてシ側関係者と立合い、補充、弁済等について処置を決めている。

② 引越荷物の送付

業者を斡旋し、船積についての注意事項を説明している。

2. 海外事務所からの専門家に対する要望事項

(1) 専門家としての体面上の注意、心得

今のところ特に問題ないが、たゞ、先般、政府宿舎に入っている者で宿舎の使用方法が極端に悪く専門家帰国後問題になったケースがある。

このようなことのないよう十分注意すること。

(2) 語学研修上の注意

英語及び現地語を覚えるよう申し入れているが（この種学校及び個人教授は多い）余り長続きしない例が多い。専門家は常に語学の習熟に意をもちいること。

(3) その他

現在、最も痛感されることは、何と云っても優秀な専門家を送り出さねばならないと云うことである。専門家は、技術、語学、人柄（特に協調性）教育技術等色々なファクターを要求されることを十分認識すること。

Ⅱ 任 国 事 情

1. 住 宅

(イ) 住宅事情

① エージェントの有無 あり。

② 入手の難易度

ここ1年位の間には急激に家賃が上がってきている。幸い現在のところは政府宿舎に比較的安全な家賃で入居出来るので(漁業センターは別)問題はないが、専門家の出入りが激しくなると官舎の確保は難しく、又、官舎の家賃も最近市価と殆ど変わらない程アップしているので問題になると思われる。漁業センター専門家は現在、全員民間の家に入っているが中心街から離れているので比較的家賃は安い。

③ 賃借方法

月払い(1カ月分の deposit を要求される)。

(ロ) 家 賃

① S \$ 550～ 650 (2 ベッド ルーム)

S \$ 650～ 850 (2 乃至 3 ベッド ルーム)

S \$ 850～1,000 (3 ベッド ルーム)

(レートについては、10.為替の項参照)

イ ホテル

- ① 1日 US\$ 15～20
- ② 1カ月 US\$ 350～450

ホテルは長期滞在しても割引しないが、ホテルと下宿の中間の Guest House が1カ月 US\$ 200位。しかし、余りよくない。

ロ 仕器・備品

- ① 携行を必要とする食器類等

一部学用品を除き特に指定のものがなければ殊更持参する必要はないが、種類が少なく(特に日本食器)デザインがびったりするものは少ない。

- ② 入居当初必要とする経費

車はシ側から無利息で任期に応じ S\$ 4,000～6,500 を借りられる。冷蔵庫は家に備え付けが多い。従って、これ以外の家具、調度品等の購入のため、或る程度の手持資金が必要である。

2. 食 品

イ) 食料事情

- ① 一般的食料事情

特に不足のものなし。

- ② 日本食品の入手状況

殆どのものが手に入るが物によっては何時もあるわけではない。種類は少ない。

③ 水、燃料等

なま水を飲める。電気、ガス共使えるがガスの方が多い。台所用具は何でもある。

④ 日本食レストランの有無

日本食堂は数軒ある。

(ロ) 価 格

米	2 ホンド	S \$1.10
パ ソ	1 袋 (1 斤半位)	0.30
ミ ソ	(小袋)	1.50
醬 油	1 升	2.20
チ ズ	半ポンド	1.40
パ タ ー	半ポンド	1.75
鳥 肉	1 羽	5.00
豚 肉	1 ポンド	2.60~3.00
エ ビ	大 3ケ	1.00
キ ャ ベ ツ	中 1ケ	1.40
白 菜	小 1ケ	1.60
キ ュ ウ リ	1 本	0.10
人 参	小 1本	0.25
じゃがいも	中 5ケ	0.50

ソース	小瓶	S\$ 1.50
番茶	(小)	1.50
パイヤ	1	0.40~0.70
パイナップル	1	0.15~0.25
ミカン	5~6ケ	1.00
リンゴ	小 10ケ	1.00
ケーキ	1ケ	0.50
ビスケット	小 1箱	1.30
キャラメル	1箱	0.50
歯磨き	大 1ケ	2.00
化粧石鹸	1ケ	0.60
コーン・ビーフ	缶詰 1ケ	1.75
鮭缶詰	1ケ	2.70
納豆	1ケ	0.50

(参考：電気，ガス，水道料 5人家族 50.00程度)

外食

日本食堂，中華料理屋，洋食レストラン等が沢山あるので外食可能。ただし，長くいると味が違うので飽きる。

中華料理

ラーメン S\$ 0.50~1.00

洋食

カレーライス}			
チキン・ライス}		S \$ 1.50~3.00	
スパゲッティ		3.00~4.00	
日 本 食			
ス	シ	3.00~4.00	
天	井	3.00~5.00	
ウ	ド	ン	1.50~3.00
サ	シ	ミ	3.00~5.00
天	フ	ラ	3.00~5.00
味	噌	汁	1.00
ス	キ	焼	10.00
ビ	ー	ル (小)	1.60
特	級	酒	3.00

3. 衣類, 日用品

(1) 衣料事情

① 一般的衣料事情

何でもあるが種類が少なく, 柄等びったりするものは少ない。

② 必要とする衣類

公式のパーティー等に婦人同伴で出席する場合があるので専門家, 夫人とも公式の服装が必要。

③ 携行すべきもの

婦人の着物及び公式パーティー用ワンピース, ステテ

コ（特にクレープのもの）。

㊦ 日用品

特に入手困難なものはない。学用品（各種ノート，ソロバン，下敷き 等）は携行した方がよい。

価 格 S\$

アンダーシャツ	S\$ 1.00	靴	15～20
シ ー ツ	5～6	ヤ カ ン	6
夏 が け	5～6	コ ー ヒ ー セ ッ ト	36
ワ イ シ ャ ツ	8～15	茶 ワ ン	2
靴 下	3～5	フ ラ イ パ ン	12
半 ズ ボ ン	10	ハ シ	0.50
パ ス タ オ ル	2.00	マ ナ 板	2.50
枕 カ バ ー	1.40		

4. 使用人

① 職業紹介所

なし。

② 具体的雇用方法

長く滞在している日本人，日本人家庭で働いている雇人，又は近所の現地人から紹介してもらう方法がある。またジャパン・クラブの掲示板も利用出来る。

③ 給与月額

アマ（女中）1カ月 S\$ 130～150（宿泊，3食付き，

料理，洗濯，掃除等何でもやる。毎日曜は休み。）

ドライバー S\$150～200

ガードナー 庭の面積，樹木の数によって異なるが大体
20～50（週2～3回）

子 守 50～60

④ 最低必要とする使用人

ア マ 1人

ドライバー 1人（運転出来ない人）

ガードナー 1人（庭付きの家）

⑤ 雇用，解雇に際し特に注意すべき事項

- 雇人には CPF（失業保険）をかける必要あり。

S\$200迄は雇主負担で8%。

- 解雇する場合は1カ月分位の手当を出すのが普通。

- Work Permit をもらわないと働けないが

Citizenship をもっていない者は入手に1カ月位か
ゝる。

5. 医 療

(i) 医療事情

① 医療施設

国立及び私立の立派な病院や開業医で信頼のおけると
ころがある。言葉の点を除き医技については心配ない。

② 日本人医師の有無

日本人医師はいない。

③ 出産の安全性

心配は全くなし。

(ロ) 医薬品

日本から持参すべき薬品としては特になし。

(ハ) 疾病の種類

① 風土病的なもの

テング熱。

② 日本出発前に特にしなければならぬ予防注射

特になし。

(ニ) 健康管理上の注意事項

① 暑い国であるが、なれてくると比較的涼しく感じ、特に10～12月頃が涼しいので風邪をひき易くなる。

② 湿気が非常に高いので、ぜんそく、結核等に注意する必要がある。湿気を嫌う物の管理も難しい。

6. 子弟の教育機関

(イ) 教育制度の概要

小学校6年 → 中学4年（前期2年は共通であるが後期2年は職業訓練学校と、普通学校に分れる） → 大学4年。

(ロ) 通常専門家の子弟が利用している教育機関の実例

殆どが日本人学校を利用している。

(ハ) 授業料

入学金	1人	S \$ 100	(小・中学同額)
月謝	月	小学校 60	中学校 100
その他	月	約 10	

(二) 通学方法

自家用車の利用が最も多く、その他集団でバスを備上したり、同一方向の者が集ってタクシーを利用したりしている。

7. 娯楽設備

(イ) 保養地、ゴルフ、ボーリング、映画等

ゴルフ (72ホール)、ボーリング 3カ所、映画館多数 (洋画と中国もの)、水泳クラブ、乗馬、テニス等各クラブあり。

(ロ) 通常の余暇の過ごし方

映画、テレビ、水泳、ゴルフ、蝶・植物等蒐集等。

(ハ) 日本人クラブ、スポーツクラブの有無、料金

日本人クラブ

入会金 S \$ 30, 月 S \$ 15 (単身は10)

ゴルフ — 入会金 S \$ 1,100, 月約 S \$ 35

最近は入会希望者が多く1年半以上待たないと正式メンバーになれない。

クラブ、フルセット — S \$ 400~600

ボーリング — 1ゲーム 1.50, 靴借用料 0.60

映画 — S \$ 3, 2, 1, の3段階

水泳クラブ — 入会金 S \$ 300

月 S \$ 25

乗馬クラブ — 人数が限定され殆ど入れない。

8. 電 力

230V, 50サイクル, 単相。

9. 交 通

(f) 交通事情

① 一般交通機関

バス, タクシーのみ。バスは深夜迄ある。

② 道路事情

良い。

③ 特に注意すべき交通法規

車は右ハンドル。車は増える一方で中心街の駐車は非常に難しい。右折禁止, Uターン禁止等が非常に多い。

④ 交通事故の取扱い

警察及び保険会社に届けなければならない。交通違反には罰金等の処分あり。

⑤ 事故補償

保険金 S \$ 7,000,000

掛 金 年 353.50

補償は S \$ 200 以上のみ, S \$ 200 以下は自弁

(g) タクシー・ハイヤーの利用, 料金

ハイヤー 1時間 S\$ 5~8

タクシー 基本料金 S\$ 0.60

½マイル毎に 0.20

(イ) レンタカー

1,300CC 級で1カ月 S\$ 500~700 (走行距離による)

1日 S\$ 20

(ロ) 自動車の購入

① 購入方法、融資方法

エージェント、新聞等により購入

シ側より、任期により6カ月以上1年未満はS\$ 4,000,

1年以上はS\$ 6,500の無利息のカー・ローンの貸付あり、

返済は任期中

② 免税輸入特権

なし。

③ 帰国時の売却方法、課税

新聞、エージェント、知人等を通じ売却。

税金 25%

(ハ) 運転免許

① 国際免許証の有効性

有効。

② 免許取得の方法、経費等

自動車学校あり。免許取得迄 約S\$ 160

(ト) ガソリン代

1 ガロン — S\$ 2.10

10. 為 替

(イ) 相 場

公 定 US\$ 1 = S\$ 3.00

実 勢 US\$ 1 = S\$ 3.05~3.06

S\$ 1 = 117.60 円

(ロ) 対日送金

銀行振替 限度なし。

(ハ) 滞在費等の受取方法

日本からの送金先 — 全員東京銀行。

引出しは通常小切手を利用。

11. 出入国管理

(イ) 税関検査

① 一般事情

余りきびしい検査はないが間々日本の煙草を規定
(200本) 以上に持込み課税されるケースあり。

② 持込禁止品 (国際的禁止品以外の)

特になし。

③ 入国に際しての注意事項

特になし。

④ 持出禁止品

特になし。

ロ) 外人登録の有無

登録し Identity Card をもらう必要あり。

ハ) ビザの更hands続き等

2週間 — 1カ月 — 1年間の3回の手続きが必要

12. 便宜供与

イ) 便宜供与の種類

① 住宅手当等の現金供与

単身赴任	S\$ 650	} これは新基準(44年より) であるが旧基準の適用をう けている者もいる。
妻 同伴	950	
妻及び子	1,300	

② 出張旅費 — 1泊 S\$10.00 又は実費, 10~24 時間
の場合は半額, 34時間以上は宿泊費+日当
公用車の提供 — なし。

ガソリン代 — 公用の場合は支給。たゞし, 通勤には支
給せず。旧基準の適用をうけている者には通勤
用ガソリン代も支給。

③ その他

○ 住宅提供 — なし。44年度より原則として各人で探
すことになっているが実際には PWD(Public
Works Department) が, 政府の宿舍が空い
ている場合は斡旋してくれる。

- 無利息カーローンの貸付制度あり

任期 6 カ月～1 年 S \$ 4,000

1 年以上 S \$ 6,500

返済は任期中に行なうこと。

- 冷蔵庫 — 支給されないが無利息ローン制度あり。
しかし、実際には殆どの官舎に備え付けられている。

- 赴任及び帰国の際、5 日間ホテル宿泊費として、シ側は次の費用を負担する。

単 身 1 泊 S \$ 30

妻同伴 45

妻・子 75

- 休 暇 — 年14日。

- 医 療 — 国立病院では歯科を除き無料

以上の支給はシ側から小切手で毎月遅滞なく支払れている。

- (ロ) カウンター・パート，通訳

原型センター，漁業センターのみ配置されている。

- (ハ) 免税特権

所得税のみ免税。

13. 通信・運輸

- (イ) 郵便事情

① 安全性、配達システム

殆ど安全、各戸配達。

② 電報・電話サービス

サービスはよい。ただし地域によっては電話の架設が難しく通常2～3ヶ月はかかる模様。

電話料 架設料 S\$70, 毎月約 S\$17 (回数料金は
ない)。

電報料 日本へO.D. (普通電報) 10語程度で約
S\$12

③ 手紙、電報の日本・現地間の所要日数

手紙 Air mail 4日～6日

電報 約5時間

(ロ) 運 送

① 陸送・海送業者の有無、料金

業者あり。

料 金 1家族平均 S\$ 500～700
(帰国の際)

② 家財送付上の手続、宛名、注意事項

横浜より海上輸送で約2週間、シ港入港後引取迄に約
2週間計約4週間かかる。

港における盗難等の心配は殆どない。

宛先は大使館気付の専門家宛でよい。

14. 言 語

(イ) 公用語、英語その他第1外国語の普及度

公用語はマレー語になっているが、実際には英語が殆ど使われている。

その他、中国語（北京、福建、広東等）、マレー語、タミール語が使われている。

殆どの者が、英語を流暢に話す。

（中共デパート、食堂等では、わからぬ者も多少いる。）

(ロ) 現地語事前学習の必要性

英語が話せれば大体問題ないが出来ればその他、北京語の習得が望ましい。（訓練生で英語の解らない者もいるので）

(ハ) 語学学習の施設、受講時間等

外国語学校あり、その他個人で自由に習える。料金は1時間S\$ 5～13

15. 気 候

年間を通じ四季、乾季の区別がなく降雨多量で湿度が非常に高い。年間を通じ気温の変化は少ないが、4、5月が最も暑い。

降雨量は2,500ミリである。

4,5月 朝 28℃ 日中 30℃ 夜 27℃

他の月 朝 26℃ 日中 30℃ 夜 26℃（何れも室内）

湿気が非常に多いので物の保存管理が難かしく、喘息、結核等にはよくない。雨の前の蒸し暑さは特にひどい。朝夕は比較的涼しいが、日中の日射しが強いので疲労がひどく特に赴任当初は不馴れなため睡眠を充分にとり、過労を避けなければならない。なれる迄4～5カ月はかかる。

(別表第1参照)

16. 治 安

(イ) 一般情勢

特に問題はない。

(ロ) 夜間外出上の注意

夜間の外出も危険は全くない。

(ハ) 緊急時における大使館又は駐在員との連絡方法、集合場所及び要領

緊急の際は電話にて連絡、避難場所は大使館、当国は狭いので最も遠い者でも大使館迄車で30分で来れる。

17. そ の 他

(イ) 対日感情

一般的に云ってよいが年輩者などで時々占領時代の残虐行為を口にすることがあるので心すべきである。

(ロ) 新聞・雑誌等

① 日本よりの購読方法、購読料

海外新聞普及(株) (東京都港区芝浦2-9, 電453-8311)

を通じ購読

新聞 1 カ月	S\$ 45~50
週刊誌 1 冊	Air mail S\$ 2.20~1.95
	Sea mail 1.20~1.35
月刊誌 1 冊	Air mail 6.00
	Sea mail 2.40

② 日本語雑誌等の販売店の有無

日本語書籍は上記会社を通じ取寄せてもらう。

イ 風俗、習慣

① 特に禁じられている風習、チップ等

当地は中国人が75%を占めているが、(人口200万の中、中国人が150万 — 別表第2参照 —) 彼等は概して金銭に対する執着心が強く、非常に功利的で万事お金で物を判断する傾向が強い。

公務員に対し贈り物をするとう受取りの意志表示をする場合、大蔵省で査定し、その分だけ月給から差引かれる。袖の下は絶対に通じない。

万事警察の取締りはきびしく、車の駐車、スピード等の違反や車から物を投棄したり、つばをはいたりすると罰金を課され、ヒッピーの入国、みだらな雑誌や本の販売等は禁止されている。

チップは他の東南アジアの諸国程しつこく請求されな

いが50セント～1ドル(S\$)位は必要。

シンガポール、マレーシアは通貨は共通。

使用人(アマ、ドライバー等)は、他の東南アジア諸国に比べよく働き性質もよい。

② 専門家としての体面

上級役人でも半袖シャツ、ノーネクタイが殆どで余程の会議でもないとな着は着ないので普段の勤務は、せいぜいネクタイのみでよい。靴は何時でもはいている。サンダルはまづい。現地人は皆清潔な恰好をしている。

(二) 理髪店、美容院

散髪 S\$ 4.00

美容院 パーマ S\$ 20.00

セット " 2.50～

(三) 買物

デパート2軒(小さい)各専門店(衣類、文房具、皮、万年筆、パテック、日用品)は日本と同じ。何んでも買える。専門家は特別の免税措置はないが、なじみになれば、10～20%位は値引きする。

Ⅲ 海外事務所等連絡先

大 使 館

住所 16, Nassim Road, Singapore 10,
Singapore

電話 374522, 374609, 374954

海 外 事 務 所

大使館内

海 外 事 務 所 長 自 宅

住所 21, Mount Sinai View, Singapore 10,
Singapore

電話 666013

別表第 1

TEMPERATURE AND RAINFALL

Year	Mean Temperature (°F)		Mean Relative Humidity at 1.30 p.m. (%)	Rainfall			Bright Sunshine Daily Mea Hours
	Maximum	Minimum		Total (ins.)	Maximum in a day (ins.)	Number of rainy days	
1962	87.3	74.2	71	90.05	4.32	177	5.26
1963	87.9	74.2	71	71.61	4.35	142	5.78
1964	87.2	74.0	73	111.25	5.75	212	5.02
1965	87.8	73.6	69	72.94	5.65	156	5.60
1966	87.7	74.7	70	97.65	2.37	190	5.27
1967	87.0	74.3	71	114.58	6.40	178	5.33
1968	87.3	74.3	70	81.78	4.92	176	5.64
1969	87.4	74.8	74	90.13	12.40	185	5.54

別表第 2

POPULATION BY RACIAL GROUP

Year	Total	Thousand Persons			
		Malays ⁽¹⁾	Chinese	Indians & Pakistanis	Other Races
1901 Census	227.6	36.0	164.0	17.8	9.8
" 1911 "	303.3	41.8	219.5	27.8	14.2
" 1921 "	418.4	53.6	315.1	32.3	17.4
" 1931 "	557.7	65.0	418.6	50.8	23.3
" 1947 "	938.2	113.8	729.5	69.0	25.9
" 1957 "	1,445.9	197.0	1,090.6	124.1	34.2
Mid-1960 Estimates	1,634.1	227.3	1,230.7	137.8	38.3
" 1961 "	1,687.3	236.4	1,269.1	141.5	40.3
" 1962 "	1,732.8	243.4	1,302.5	143.7	43.2
" 1963 "	1,775.2	249.2	1,334.5	146.1	45.4
" 1964 "	1,820.0	257.8	1,366.5	149.9	45.8
" 1965 "	1,864.9	266.6	1,396.5	153.7	48.1
" 1966 "	1,913.5	276.1	1,427.0	156.6	53.8
" 1967 "	1,955.6	283.5	1,454.5	159.4	58.2
" 1968 "	1,987.9	287.7	1,478.6	161.2	60.4
" 1969 "	2,016.8	292.6	1,499.8	161.2	63.2

(1) Include Indonesians.

MAP OF SINGAPORE



